函南町立桑村小学校だより　１１月号　　令和８年１１月

# さくら

創立 153 周年

校　　訓「ほんきで なかよく きまりよく」
学校教育目標「夢に向かい　感性を育む　桑っ子」
重点目標「しなやかに生きる子」

## ～大きな行事を終えて、次なる「挑戦のステージ」へ～

校庭の木々から一枚、また一枚と葉が舞い落ち、吹き抜ける風に秋の深まりを実感する頃となりました。

１０月１日（木）・２日（金）には、６年生が丹那小学校と合同で修学旅行に行ってきました。子供たちは各見学先で多くの学びを得ると同時に、バスの中でのレクリエーションや浅草での班別行動などを通して、互いの親睦を深め、かけがえのない思い出を作ることができました。

また、１０月 24 日（土）に予定しておりました運動会につきましては、不安定な天候のために延期が続き、保護者や地域の皆様には大変ご心配とご迷惑をおかけいたしました。皆様の温かいご理解とご支援のおかげをもちまして、２８日（水）に無事開催することができました。心より感謝申し上げます。子供たちもこの運動会を通して、一回りも二回りも大きく成長したように感じられます。

さて、１１月・１２月は「挑戦のステージ」となります。子供たち一人一人が新たな目標に向かって全力で取り組めるよう、全職員でしっかりと支えてまいります。今後とも変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いします。



10/28　運動会

## 11月　主な行事予定

| 日 | 曜 | 給 | 週 | 行事予定 | 日 | 曜 | 給 | 週 | 行事予定 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 日 | | | | 16 | 月 | ○ | B | ５年トヨタ出前講義<br>スクールカウンセラー来校 |
| 2 | 月 | ○ | B | | | | | | |
| 3 | 火 | | | 文化の日 | 17 | 火 | ○ | B | クラブ活動② |
| 4 | 水 | ○ | B | PTA 役員会　桑村道場 | 18 | 水 | ○ | B | 桑村道場 |
| 5 | 木 | ○ | B | 第３ｽﾃｰｼﾞ朝会<br>ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙの話（昼休み） | 19 | 木 | 弁 | B | 5年校外学習(ジオリア・小坂みかん園) |
| | | | | | 20 | 金 | ○ | B | 代表委員会 |
| 6 | 金 | ○ | B | 町あいさつ運動 | 21 | 土 | | | みんなで楽しく体育館で遊ぼー！13:00 |
| 7 | 土 | | | 親子観劇 | 22 | 日 | | | |
| 8 | 日 | | | | 23 | 月 | | | 勤労感謝の日 |
| 9 | 月 | ○ | A | | 24 | 火 | ○ | A | クラブ活動③ |
| 10 | 火 | ○ | A | クラブ活動①　2･5年歯科教室 | 25 | 水 | ○ | A | 桑村道場 |
| 11 | 水 | × | A | ３時間授業　給食なし | 26 | 木 | ○ | A | 体育公開(持久走) |
| 12 | 木 | ○ | A | 委員会活動 | 27 | 金 | ○ | A | 体育公開(持久走)予備日 |
| 13 | 金 | ○ | A | 桑活 | 28 | 土 | | | |
| 14 | 土 | | | 町作品展 | 29 | 日 | | | |
| 15 | 日 | | | 町作品展 | 30 | 月 | ○ | B | |

# 【令和８年度全国学力・学習状況調査】から

（文責：小川）

４月に６年生を対象に実施しました「令和８年度全国学力・学習状況調査」における桑村小学校の調査結果と、今後の取り組みについてお知らせいたします。

今回は、国語・算数と学習状況の調査を行いましたが、児童の学力の一部であり、学校の教育活動の一側面であることをご承知おきください。

## 教科に関する調査結果から

全国の平均と比べたときの差
◎…高い　○…やや高い　□…ほぼ同じ　△…やや低い　▲…低い

【小学校国語】

| 全体正答率 | | ◎ |
|---|---|---|
| 知識及び技能 | (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 | ◎ |
| | (2)情報の扱い方に関する事項 | □ |
| 思考力、判断力、表現力等 | A 話すこと・聞くこと | ◎ |
| | B 書くこと | ◎ |
| | C 読むこと | △ |

【小学校算数】

| 全体正答率 | □ |
|---|---|
| A 数と図形 | □ |
| B 図形 | □ |
| C 測定 | ◎ |
| C 変化と関係 | ▲ |
| D データの活用 | △ |

**国語**　平均正答率が、全国を大きく上回りました。特に「知識及び技能」の正答率が高く、中でも「話すこと・聞くこと」は非常に優れた数値を示しました。漢字や言葉の特徴などの「知識及び技能」も定着しています。記述問題に対して「最後まで書こうと努力した」児童が 100%となり、書く姿勢がしっかりと育っています。一方、「読むこと」については低調であり、文章の構成や文脈を正確に捉える問題は補強していきたいポイントです。また、自身の経験と結び付けて考えを書く記述問題において無解答率が高かったことも課題です。

★力をつけるための取り組み（学校での指導・ご家庭での協力）
・文章の因果関係や段落相互のつながりを図や矢印で整理する指導を行います。
・短い一文から自分の考えや経験を書き留める機会を増やし、記述への心理的ハードルを下げます。
・読書やニュースを見終わった後に「なぜこうなったと思う？」と前後の関係を問いかけたり、「自分ならどうする？」と問いかけたりする等、本人の経験と結び付けて話す機会を日常の中で作ってください。

**算数**　平均正答率は、全国の平均とほぼ同等でした。「測定（図形や時間など）」領域の正答率は、著しい伸びを示しました。カードを使って数を作る問題、数直線、時間の計算など、基礎・基本の処理能力が定着しています。一方、割合や変化を扱う「変化と関係」、「混み具合を表す式」や「1.5 倍を表す図の選択」など、数量の関係性を深く理解して判断する力や、複雑な「二次元の表」から必要な条件を読み取る力が不足しています。

★力をつけるための取り組み（学校での指導・ご家庭での協力）
・「混み具合」や「〇倍」の概念を図示や具体物を使って実感を伴って理解できるようにします。
・二次元の表やグラフから、条件に合うデータを正しく抽出する練習を強化します。
・「昨日の1.5倍の量」「特売チラシや計画表の読み取り」など、生活の中で数量や時間を意識する会話を取り入れてみてください。

## 生活や学習のようすに関する児童・生徒質問紙調査結果から

「将来の夢や目標をもっている」、「自分で学び方を工夫している」の項目において、高い意欲をもっていること、また、「先生は自分のよいところを認めてくれている」、「人と違う意見を言っても否定されない」と多くの子が感じており、安心できる学級環境が整っていることが、本校の強みとして挙げられます。一方、平日の家庭学習時間が「30 分より少ない」児童が多く、家庭学習習慣の定着が課題として挙げられます。端末を使って「文章を作成・表現できる」と回答した児童は少数に留まり、調べるだけでなく「考えをまとめて書き出す」機会の拡充が必要です。

★力をつけるための取り組み（学校での指導・ご家庭での協力）
・ICT を単なる検索（調べる）だけでなく、スライド作成や自分の考えをまとめる「表現（書く）」活動に重点を置いて使用する機会を増やします。
・「帰宅後」や「夕食前後」など、毎日決まった時間に机に向かう習慣（10分間×学年）が身に付くように、ご家庭でも声かけやサポートをお願いします。